

生態系ネットワーク協議会の取組状況について

1 生態系ネットワーク協議会の概要

尾張北部

2013年10月協議会設立

《団体数》18（学術3、NPO等6、企業4、行政5）
 《テーマ》《うらやま》の豊かな自然を再発見しよう
 《会長》犬山里山学研究所理事長 林進氏
 《主な成果》犬山里山学センターを中心として地域の生態系の理解と保全が進展。2016年には連携計画を策定
 《主な受賞》2018 いきものにぎわい活動コンテスト(（公社）国土緑化推進機構)「公益社団法人国土緑化推進機構理事長賞」エスバックミック(株)
 2016 プロジェクト未来遺産((公社)日本ユネスコ協会連盟)(NPO)海上の森の会

尾張西部

2016年11月協議会設立

《団体数》47（学術3、NPO等15、企業11、行政18）
 《テーマ》サギやケリの舞う生命(いのち)豊かな尾張平野をめざして
 《会長》ピオトープ・ネットワーク中部会長 長谷川明子氏
 《主な成果》生物多様性に取り組む事業者のノウハウ提供を得ながら、自然環境調査や企業ピオトープの整備が進展
 《主な受賞》2020 日本自然保護大賞「大賞」(株)加藤建設
 2019UNDB-J認定連携事業(UNDB-J(環境省))祖父江のホテルを守る会

東部丘陵

2011年3月協議会設立

《団体数》41（学術23、NPO3、企業4、行政11）
 《テーマ》23 大学が先導する、ギフチョウやトンボの舞うまちづくり
 《会長》金城学院大学准教授 吉田耕治氏
 《主な成果》設立当初から、構成大学等によるリレー講座「自然再生カレッジ」を継続。近年は企業も参画し、ピオトープを整備
 《主な受賞》2018 生物多様性アクション大賞(UNDB-J(環境省))「入賞」三五コーポレーション(株)
 2017 生物多様性アクション大賞(UNDB-J(環境省))「入賞」大日本印刷(株)

知多半島

2011年1月協議会設立

《団体数》40（学術3、NPO等10、企業16、行政11）
 《テーマ》ごんぎつねと住める知多半島を創ろう
 《会長》大同大学教授 大東憲二氏
 《主な成果》学生、企業、NPOの協働による北部企業緑地での活動の他、中部、南部でも生態系の保全、再生が進展
 《主な受賞》2020 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰(国)命をつなぐPROJECT学生実行委員会
 2018 生物多様性アクション大賞(UNDB-J(環境省))「入賞」(株)豊田自動織機

西三河

2011年3月協議会設立

《団体数》32（学術6、NPO等10、企業6、農林漁業団体2、行政8）
 《テーマ》最先端のものづくりと最先端のエコロジーが好循環する暮らしを目指して
 《会長》静岡大学特任教授 武田穰氏
 《主な成果》企業と住民、NPO等が連携した地域性苗木の活用モデルの確立、大学、企業、地域団体等が連携した生態系保全、外来種駆除など、多様な主体の新たな連携が展開
 《主な受賞》2019 ピオトープ顕彰((NPO)日本ピオトープ協会)「大賞」トヨタ自動車(株)堤工場
 2015UNDB-J認定連携事業(UNDB-J(環境省))ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)幸田サイト、生活協同組合コープあいち



西三河南部

2016年2月協議会設立

《団体数》27（学術3、NPO等6、企業等10、農林漁業団体4、行政4）
 《テーマ》きらきら光る 碧(あお)い海 ～西三河沿岸が育む生きものたちのつながり～
 《会長》人間環境大学名誉教授 片山幸士氏
 《主な成果》外来種の駆除や自然観察会、フォーラムなどの実施
 《主な受賞》2017 工場緑化推進全国大会((一財)日本緑化センター)「日本緑化センター会長賞」トヨタ自動車(株)衣浦工場
 2017 水・土壌環境保全活動功労者表彰(環境省)へきなん市民環境会議

新城設楽

2013年10月協議会設立

《団体数》20（学術1、NPO等8、企業6、行政5）
 《テーマ》樹を活かす、地域を活かす、森のちからと人の営みが調和する奥三河
 《会長》愛知大学名誉教授 功刀由紀子氏
 《主な成果》生き物と共存できる地域作りを目指して、人工林皆伐地で広葉樹の植樹を継続。間伐材を使った積木の活用、大学生との協働も進展
 《主な受賞》2014UNDB-J認定連携事業(UNDB-J(環境省))(NPO)穂の国森づくりの会
 2013 過疎地域自立活性化優良事例表彰(総務省)「総務大臣賞」(NPO)てほへ

東三河

2014年2月協議会設立

《団体数》24（学術5、NPO等10、企業等4、行政5）
 《テーマ》穂の国いきものがたり、子どもたちへ水と緑でつながよう
 《会長》東三河自然観察会理事 梶野保光氏
 《主な成果》親子向けの環境学習ツアーや大学生・高校生も参加するフォーラムなどを通じて、世代間のつながりを構築
 《主な受賞》2016 愛知県都市緑化功労者表彰(愛知県)(NPO)東三河自然観察会
 2016 環境保全関係功労者表彰(愛知県)さがらの森もりクラブ

渥美半島

2015年1月協議会設立

《団体数》37（学術3、NPO等21、企業等9、農林漁業団体1、行政3）
 《テーマ》海と大地の恵みを活かし、人と自然を未来につなぐ渥美半島の創造
 《会長》豊橋技術科学大学客員教授 後藤尚弘氏
 《主な成果》フォーラムを通じて、地域の多様な団体の連携を強化しつつ、半島独特の豊かな自然を活かしたエコツアーなどを実施
 《主な受賞》2017「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰(環境省)環境ボランティアサークル亀の子隊
 2014 日本自然保護協会沼田賞(日本自然保護協会)「沼田真賞」(NPO)表浜ネットワーク

協議会構成団体数 計 286 団体










<内訳> 学術 50、NPO 等 89、企業 70、農林漁業団体 7、行政 70

2 生態系ネットワーク協議会の取組状況

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
知多半島 (2011年1月設立)	☆生態系ネットワークフォーラム (協議会による公開フォーラム)	キツネの生息調査 (日本福祉大学)	臨海部企業等11社の緑地における取組 命をつなぐPROJECT (企業、NPO、学生等による協働)				★モニタリング手法確立・ビジョン作成			
	(ピオトープ整備)・JXエネルギー (在来種植樹)	・豊田自動織機 (市街地企業遊休地) ・LIXIL	IHI	★出光興産 ・愛知製鋼	★大同特殊鋼 ・大同特殊鋼	★愛知製鋼	★大同大学	★愛知製鋼	★大同特殊鋼	
	生態系調査		その他地域における取組	(ピオトープ整備) ★日本福祉大学 松枯れ跡地再生①	★日本福祉大学 松枯れ跡地再生②					
	設立 (30団体) →39			(調査) ★東浦町自然環境学習の森 (調査) ★同左 (整備計画作成)	★日本福祉大学 松枯れ跡地再生 (調査)					
東部丘陵 (2011年3月設立)	☆自然再生カレッジ (構成大学による公開リレー講座)	☆生態系ネットワークフォーラム	☆自然再生カレッジ							
	生態系調査	大学キャンパス等での湿地や水辺の整備等 里山教室 (金城学院大学) 尾張東部丘陵自然環境研究者の会	(自然環境保全活動) (ピオトープ整備)	・愛知学院大学	★愛知学院大学 ★愛知工業大学	★愛知学泉大学 (調査)	★愛知工業大学 (調査)	★三五 (調査)	★三五	★大日本印刷 (調査)
西三河 (2011年3月設立)	生態系調査	工場群がまちに自然を呼び込むプロジェクト (ピオトープ整備)	里山の田んぼ保全 (コープあいち等) ・豊田鉄工 ・刈谷市 (ロータリー) ・トヨタ車体				☆生態系ネットワークフォーラム ☆トヨタ車体アカミミガメ駆除			
	設立 (21団体) →32		地域住民が家庭で在来種の苗木を育てるプロジェクト (ソニー幸田、コープあいち)	★種子採取、調査	★育苗等	★植樹等	★種子採取、調査 (アースワーカーエナジー)	★育苗、調査	★育苗等	
尾張北部 (2013年10月設立)	生態系調査	協議会設立準備	設立 (10団体) →18	生物多様性地域共同戦略策定に向けての学習会			★地域車携保全計画(調査)			★自然観察会 (小牧市、春日井市、犬山市)
			生態系ネットワークフォーラム							
新城設楽 (2013年10月設立)	木の駅プロジェクト	☆生態系ネットワークフォーラム								
	生態系調査	協議会設立準備	設立 (13団体) →20	★人工林の広葉樹林化 ★間伐材等を活用したイベント開催						
東三河 (2014年2月設立)		生態系調査	設立 (22団体) →24	☆生態系ネットワークフォーラム ☆フォーラム・バスツアー (ピオトープ整備) ★愛知大学						
渥美半島 (2015年1月設立)			生態系調査	設立 (22団体) →37			☆生態系ネットワークフォーラム	☆自然環境学習バスツアー 外来種駆除		
							☆自然学習会			
西三河南部 (2016年2月設立)				生態系調査	設立 (25団体) →27		☆ピオトープ学習会 ☆NWフォーラム ☆外来種駆除	☆自然観察会 ☆NWフォーラム ☆外来種駆除		
							★碧南水族館 (ピオトープ整備)			
尾張西部 (2016年11月設立)					生態系調査	設立 (45団体) →47	☆NWフォーラム	☆自然観察会	☆自然観察会	☆自然観察会
							★ワークショップ	★ワークショップ		
							★豊田合成 (調査)	★豊田合成 (ピオトープ)		

※ 表中に★印で表示してある事業は、「あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成事業交付金」を活用した事業。☆印で表示してある事業は、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」を活用した事業。

3 2020年度の取組状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ビオトープ関連事業	
知多半島						中止 企業緑地公開 (環境イベント)			エコ縁日 (環境イベント) フォーラム	環境情報紙発行			ビオトープ創出 (北部:東レ(株)東海工場) 調査 (企業緑地モニタリング)	
東部丘陵			自然再生カレッジ (6月~12月、オープン講座5回)					生物多様性モニタリング導入事業(5ヶ所)						ビオトープ創出 (大日本印刷(株))
西三河		生物多様性モニタリング調査(みよし市内)				アカミミガメ 駆除活動		ソニーの森・天使の 森 地域 在来苗木植栽	オオフサモの 除去				ビオトープ維持・向上 (乙川源流域の森) 調査 (苗木循環育成モデル化事業) (みよし市内モニタリング) (刈谷北部ポテンシャルマップ)	
尾張北部				児の森 定期観察会		東部丘陵地 域 巡回活動(1)	環境マップ 資料収集調査 (水生生物)	栗栖 観察会		東部丘陵地 域 巡回活動(2)			調査 (生物多様性モニタリング)	
新城設楽						中止			展示(新城市と 協同開催)				ビオトープ創出 (健全な森林生態系) 調査 (植樹地モニタリング)	
東三河						中止			植樹バスツ アー	フォーラム(鳳来 寺山自然科学博物 館)			-	
渥美半島		中止 オオキンケイギク等 駆除活動							バスツアー (鳥・アサギマダラ)	フォーラム			-	
西三河南部		中止 オオキンケイギク 駆除活動				中止		中止					-	
尾張西部					新型コロナウイルスの影響により、今年度は活動休止									